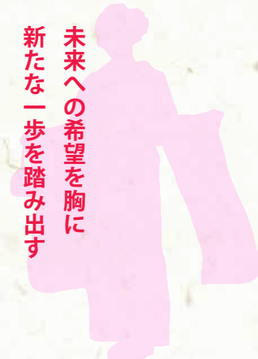
令和７年度

錦江町 二十歳の集い

祝 二十歳

今年の二十歳の集いは平成 17 年度生まれが対象。
対象者 80 名のうち 43 名が参加し、大人への第一歩を踏み出しました。

未来への希望を胸に 新たな一歩を踏み出す



真新しいスーツ、華やかな振袖に身を包み、少し緊張した様子で訪れた二十歳の皆さん。1月3日に開催された錦江町二十歳の集いの受付会場は、友人や恩師と久しぶりの再会を喜び、談笑する姿が多く見られました。

式典では、小中学校時代を写真で振り返るスライドショーが上映され、当時のなつかしい写真の数々に会場からは笑いや歓声が上がりました。

二十歳を代表して、5名が家族への感謝のメッセージを朗読。式典の最後は、実行委員会委員長を務めた阿潟濵美羽さんが、「これからは、この故郷で育ったことを誇りに思い、大人としての自覚を持って行動していきます」と宣言し、感謝の気持ちを述べました。

式典後は、保護者や恩師、友人たちと晴れ姿で記念撮影。祝福や激励を受けながら、未来への希望を胸に新たな一歩を踏み出しました。

士気を高め団員相互の団結力で安心安全な地域を目指す

2026.1.6火 令和8年 錦江町消防出初式

1月6日（火）、田代保健福祉センターで消防出初式が行われ、町内各団の消防団員が参加しました。JA田代給油所から田代保健福祉センターまで、消防団員と消防車両による力強く規律あるパレードが行われ、華やかな新年の幕開けを告げました。また、田代幼年消防クラブの『誓いの言葉』や、勤務年数に応じた表彰など、厳かな式典が催されました。

消防団表彰

消防団員として地域の生命・財産を守り、安心安全なまちづくりに功労した消防団員や退団者、その団員を支える家族など32名に表彰状が授与され、その功績を称えました。

消防関係者32名に表彰状

各表彰（敬称略）

日本消防協会永年勤続功労章
本部　栗脇　勉

日本消防協会30年勤続章
神川分団　野間　哲朗
中央分団　内薗　政文
大原分団　中村　文作

鹿児島県消防協会功績章
神川分団　菖蒲　隆

鹿児島県消防協会精績章
麓分団　槻島　健司
中央分団　水口　泰行
中央分団　土岩　英明

鹿児島県知事10年勤続章
川原分団　貫見　欣司
中央分団　小田　光太
池田分団　安水　峯晴
中央分団　六反田　武志

鹿児島県消防協会肝属支部 15年勤続章
宿利原分団　横山　弘幸
池田分団　壱崎　亘
中央分団　福岡　真治
中央分団　久本　晃
神川分団　森満　章浩
福園貴生
大原分団　渡辺　寛之
池田分団　白井　和代
中央分団　荒武　早苗

退団者表彰（10年以上）
麓分団　大寺　幸夫
中央分団　鳥越　俊一
池田分団　馬込　真一
宿利原分団　大坪　稔
宿利原分団　宿　修
川原分団　尾長谷　勝久
神川分団　今隈　幸洋
神川分団　今熊　亮太朗
池田分団　森田　悠介
麓分団　石走　康成
川原分団　川邉　博昭

大切な家族へ感謝のメッセージ

coming of age ceremony 2026

大人への第一歩を踏み出した43名を代表し、5名が家族への感謝の思いを伝えました。

今まで20年間、僕を育ててくれてありがとう。今の僕がここにいられるのは、パパとママが支えてくれたおかげです。

パパは優しくて、よく色々な人に頼られている僕の自慢の父親です。ママは料理が世界一おいしくて、笑い声がキュートな自慢の母親です。これまで、よく叱られました。でもそれは僕のためであって、僕のことを想って言ってくれているんだと二十歳になった今、そう思います。これから僕には楽しいことがばかりではなくて、苦しいこと、辛いこと、いろんなことが待ち受けていると思います。でも、自慢のパパママから生まれ、育ててもらった僕なら、どんな困難にも立ち向かっていけると信じています。

パパ、ママ、いつもありがとう。

川原 瑠尉（るい）さん（錦江中）

今まで育ててくれてありがとう。お父さんは厳しいことをたくさん言うけど、結局一番応援してくれている人です。めんどくさそうにしながらも、私の話を聞いていないようで、実はちゃんと聞いていて、後からぽつっと一言くれるところがお父さんらしいなと思っています。そのおかげで、私は自分の夢に向かって少しずつ成長できています。

お母さんはいつも一番近くにいる存在です。つらい時や苦しい時はもちろん、嬉しかったことも楽しかったことも私以上に一緒に喜んでくれる人です。お母さんでもあり、時々お姉ちゃんみたいでもあって、気づけば一番頼っている存在です。普段はなかなか言えないけど、こんな私をここまで育ててくれたこと、ちゃんと感謝しています。これからも変わらずに見守ってもらえたら嬉しいです。本当にありがとう。

神園 さくらさん（錦江中）

今日はこの場を借りて、母への感謝を伝えたいと思います。私は小学2年生のときに錦江町に引っ越してきました。最初は不安もありましたが、自然の豊かさや地域の方々の温かさに背中を押され、少しずつこの町になじんでいきました。しかし、そんな毎日を当たり前に過ごせていたのは、いつも支えてくれる母の存在があったからだと思います。忙しくても、自分のことをあと回しにしてでも、私に向き合い続けてくれたことに、とても感謝しています。私が一方的に反抗したときも、変わらずに支え続けてくれた母をとても尊敬しています。最近では、休日に山に登ったり、マラソン大会に出たり、仕事と子育てと趣味を両立して、全部を楽しんでいるお母さんがかっこいいです。今日まで20年間育ててくれた母へ、本当にありがとう。

重久 あゆみさん（田代中）

今日の二十歳の集いを開催するために準備してくださった役場の方、ボランティアの方々、来賓の皆さん、私たちのためにありがとうございます。

今日無事に二十歳の集いを迎えることができたのは両親のおかげです。今まで20年間いっぱい迷惑をかけてしまい申し訳ないです。こんな息子ですが、今まで育ててくれてありがとうございます。これからは立派な理学療法士になり、恩返しできるように頑張ります。今までありがとう。そして、これからもよろしくお願いします。

徳永 莉玖（りく）さん（田代中）

20年間僕のことを育ててくれてありがとうございます。自分は昔から、時間があればゲーム、昼は走り回って夜中も隙あらばゲーム、コントローラーを隠されても見つけ出してゲームという、ふざけた子供でした。それでも、自分がeスポーツをしたいと言ったら、それを認めてくれて、支えてくれました。そのおかげで、2024年12月に50万人の参加者の中から勝ち抜き、日本代表となり、世界大会に行くことができました。でも、世界一という夢は叶えられず、世界ベスト8という結果に止まってしまいました。大学生になってからは、体調を崩したと言ったら福岡まで来てくれて、こんなに自分のことを想ってくれる親は他にはいないと思います。次は世界一になる姿を見せるので、これからもよろしくお願いします。

重田 幸輝（こうき）さん（錦江中）